

# 主要欧州材価格

本紙調べ △印高 ▼印安 (単位:円)

品名	4月	5月
◆東京		
KD間柱(大陸欧州産) Wウッド 3m 27×105mm S4 S芯去り 問屋オントラ	㎡ 60,000-65,000	△70,000
ラミナ(北欧産) Wウッド乱尺 24×110mm ラフ オントラ	// 38,000	38,000
// ( // ) Rウッド 3.4m長60% 34×112mm ラフ オントラ	// 38,000	38,000
原板( // ) Wウッド乱尺 42mm厚 ラフ5th&btr	// //	43,000
集成管柱(国産) Wウッド 3m105×105mm 5層JAS 丸カット工	本 2,200-2,300	△ 2,300
// (欧州産) Wウッド // //	㎡ 63,000-64,000	△65,000-70,000
集成平角(北欧産) Rウッド 4m105×240mm E105 JAS	// //	70,000
// (国産) Rウッド // //	// //	70,000
◆大阪		
KD間柱(北欧産) Wウッド 3m 27×105mm S4 S芯去り 問屋売り	㎡ 65,000	△80,000
マンション間柱( // ) Wウッド 2.7m 27× 40mm S 4 S //	// 65,000	△80,000
ラミナ( // ) Wウッド乱尺24~24.5×112mm ラフ オントラ	// 45,000	45,000
集成管柱(国産) Wウッド 3m105×105mm 5層JAS 丸カット工	本 2,100	△ 2,650
集成平角(北欧産) Rウッド 4m105×240mm E105 JAS 丸カット工	㎡ 68,000	△80,000
◆名古屋		
KD間柱(欧州産) Wウッド 3m 30×105mm S4 S芯去り 問屋売り	㎡ 65,000	△72,000
集成管柱(国産) Wウッド 3m105×105mm 5層JAS 丸カット工	本 2,100	△ 2,300
※集成平角(国産) Rウッド 4m105×240mm E105 JAS 問屋売り	㎡ 70,000	△85,000
◆東北		
集成管柱(国産) Wウッド 3m105×105mm 5層JAS 販売店着	本 2,000	2,000
集成平角( // ) Rウッド 4m105×300mm JASオントラ	㎡ 65,000	65,000

※はアッセンブル価格

# 欧州材商況

## 概況

国内の欧急な入荷遅延も起こり得る不安定な状況のため、先行きのラミナ需給は楽観視できな。6月上旬に欧州産の第3・四半期交

## 新規交渉も値上げ予想

騰が続いている。いずれの製品も前回契約時のコストを念頭に置いていた価格提示となっている。集成材メーカーのラミナ在庫は低水準。メーカによって輸送に時間がかかっていたラミナが入荷し始め、ひっ迫感が若干緩和された印象だ。だが、新規受注を受け付けられるまで生産力が回復するには時間が掛かりそうだ。

替は、輸入元のコストを左右する。産地の工場は好調を続けている。北米向けデイメンションは引き続き供給格も上がり、産地企業にとっては日本向けは徐々に解消されているものの、産地企業全体にコンテナが不足が続いている。一方、コンテナ不足は格差がある模様。北欧の一部やバルト海周辺などでは丸太不足が続いている。

## 東京

国内産Wウッド集成管柱・Rウッド集成平角の価格の中心は6月中に8万円(プレカット工場着、立方材)に迫りそうだ。5月は両品目とも7万円台が主流(同)だったが、新価格は夏場に本格入荷する第2・四半期契約のラミナコストに合わせた設定となる。輸入品も価格動向は同様だ。

首都圏のプレカット工場は数量確保のため高値契約に依るが、重視しているのは納期。工場関係者は「生産力が低下し販売量が減るのはやむを得ない。だが工場の資材在庫が縮小している今は納期回

## 大阪

欧州材製品は各製品とも前月比で1万円を越える全面高となった。WウッドKD間柱3、4材は7万8000~8万円(問屋売り、立方材)と前月比1万5000円高、Rウッド集成平角8万円(プレカット工場着、立方材)は同1万2000円高、Wウッド集成管柱26500円(同、本)は同7000円高。次回の契約価格に鑑み、先行き10万円超となる勢い。ラミナ不足から、一部ではWウッド集成管柱の供給が一段と不足しているこ

## 名古屋

欧州材製品は、品薄のまま値上がりが続いている。プレカット工場では、資材不足を理由とした加工の遅れが物件単位で発生しているという。

Wウッド間柱について商社は「一柱や梁・桁に比べると、間柱は国産の杉及び桧、中国産ポプラのLVLなど代替樹種の幅が広いものの、需要に応えられない」と指摘。Wウッド集成管柱も、現地挽きの不足を国内物や桧など国産木材で補うのは難しい状況

## 柱・平角は8万円視野

答がもらえないと加工スケジューリングが確定できない」と話す。各プレカット工場は国産材製品への仕様変更も進めているが、製品供給には限界がある。構造材の主力品である欧州材製品の納期安定が、工場稼働のキギとなっている。羽柄材は、杉KD間柱が各製品市場で高騰するなど市況が極めて不安定。WウッドKD間柱の価格も7万円台(オントラ、立方材)に乗ってきおり、流通はひっ迫している。問屋は「商社からの供給量がウッドショック前と比べて大幅に減っている」と指摘する。

## 先行き10万円をにらむ

とも要因だ。プレカット工場は稼働率の抑制を唱えたものの、加工依頼は多く、材さえ確保できれば少しでも増やしたいという。製品を手当てできる機会があれば価格交渉することもなく「購入は即断」と話す。また木建ルートの流通量は少なく、在庫は払底したままだ。需要をけん引してきた米国で木材先物価格や住宅販売戸数に陰りが見え始め、今が価格のピークとし、警戒感を高めている声も聞かれる。

## 品薄と値上がり続く

だ。大幅に値上がりしたRウッド集成平角は、6月以降もさらに値上がりする見込みだが、問屋では「現状は供給に対する要望が強い」と話す。欧州産Wウッド3材KD間柱7万2000円(問屋売り、立方材)は前月比7000円高、国産Wウッド集成管柱23000円(プレカット工場着、本)は同2000円高、Rウッド集成平角8万5000円(問屋売り、立方材、アッセンブル)は同1万5000円高。

## 値上がり進む

欧州材構造用集成材の供給は増えておらず、値上がりが進んでいる。春着工分の資材を確保していた東北のビルダーでも、先行きの資材不足が現実味を帯びており、今後の大幅な資材コスト高は避けられないとの声が大勢に。

Rウッド集成平角は6万円台中盤から後半(立方材、プレカット工場着)に向かっている。米松KD平角もほぼ同値圏。W・Rウッド集成管柱も20000円台前半(本、プレカット工場着)が通り始めており、杉集成管柱も値上がり。ただ、梁に比べれば、代替となる杉製品を手当てしやすい。Wウッド間柱も供給量が減るなか、価格は強含みに。杉グリーン羽柄材で代替する動きも強まっている。

## 北海道

本州との材のやり取りも北海道では他の地域に比べ、欧州材不足の影響が出るのが遅かった。だが、5月に入り住宅着工数の増加とともに、プレカット工場の稼働が上昇し欧州材の在庫が減少。道内で利用が多いWウッド集成平角やWウッドムク材の在庫が買い増され、羽柄材の不足で、トド松などの道産材が買われている。本州のプレカット工場や流通と協力し、道内で在庫が少ない杉やLVLの羽柄材などを調達する。Wウッド集成管柱や同集成平角などは、購入量が限られているうえ、値上げを受けられる方向で調達している。国産Wウッド集成管柱の中心値は21000円(本、プレカット工場着)前後の強保合で、本州と変わらない水準だ。